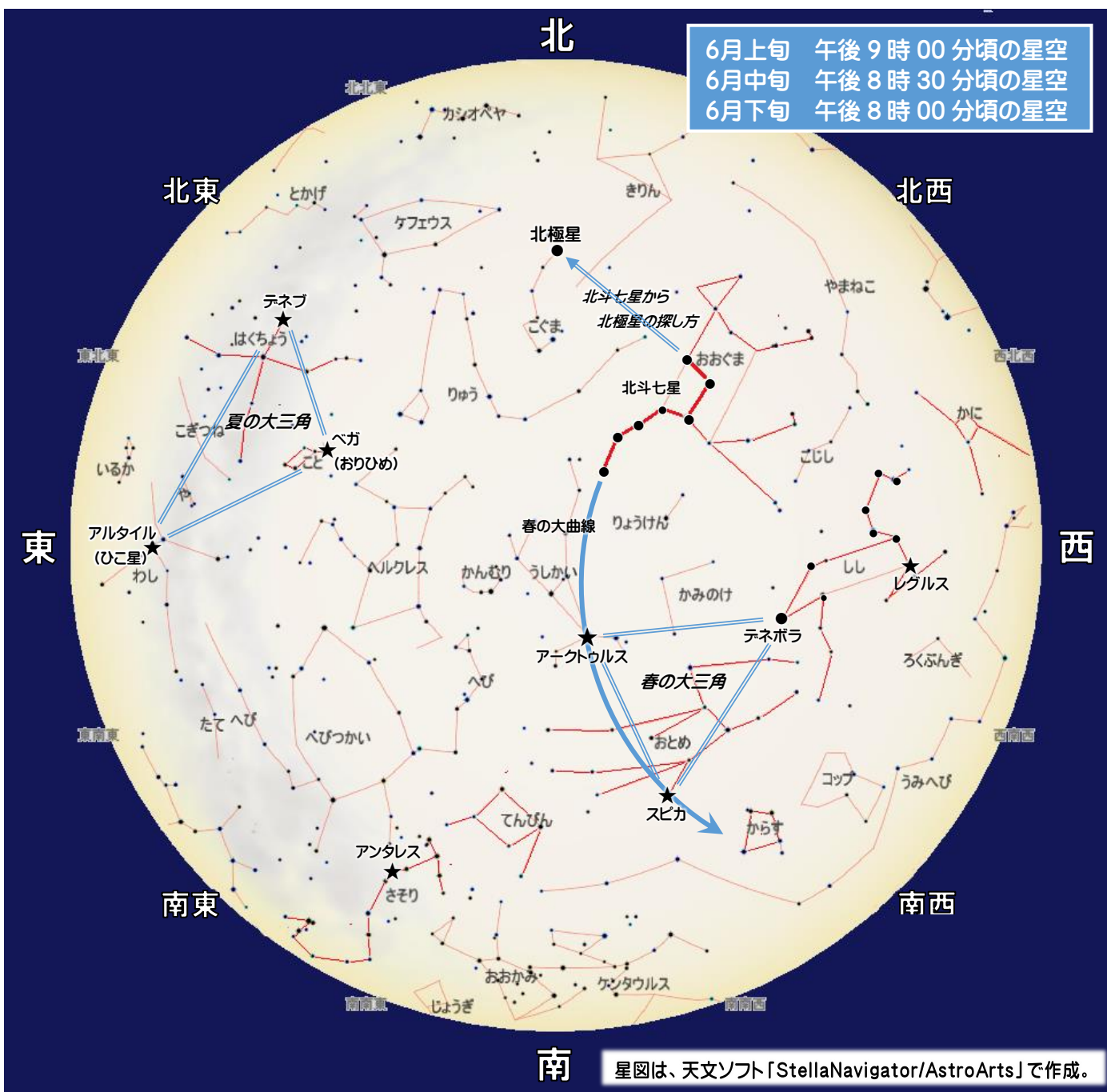


2020年 6月の星空案内



【6月の星空】

宵の空には、まだ春の星座たちが輝いています。北斗七星の柄のカーブを延ばしていくと、うしかい座の「アークトゥルス」、おとめ座の「スピカ」へと『春の大曲線』が伸びます。この2つの1等星にしし座のしっぽにあたる2等星「デネボラ」を加えた『春の大三角』も、春の星座を見つける目印です。

時間が経つにつれて、『夏の大三角』の1等星（こと座のベガ、はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイル）が、次々と北東の空から昇ってきます。

【夏至の日の「部分日食」】

6月21日（日）アフリカから東アジアにかけて「金環日食」が見られます。日本からは一部が欠ける「部分日食」として見られます。さいたま市では、食の始まりは16時11分、食の最大は17時10分（食分0.47）、食の終わりは18時3分です。日曜日の午後、西の空で欠けていく太陽に注目しましょう。太陽の光や熱はとても強いので、日食グラスなどを用意して安全に観察してください。